



幕 監 査 第 94 号  
令和 3 年 8 月 23 日

幕別町長 飯田 晴義 様

幕別町監査委員 八重柏 新 治



幕別町監査委員 藤 谷 謹 至



令和 2 年度幕別町基金の運用状況審査意見について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第241条第5項の規定により審査に付された令和2年度幕別町基金運用状況について審査しましたので、その結果について次のとおり意見を提出します。

## 令和2年度幕別町基金の運用状況審査意見

### 第1 審査の概要

#### 1 審査の対象

幕別町各基金の運用状況

#### 2 審査の期間

令和3年7月14日から令和3年8月23日まで

#### 3 審査の手続

審査に付された各基金の運用状況を示す書類について、その計数の正確性、基金運用状況の妥当性の検証を主眼とし、関係帳簿及び関係書類との照合等その他通常実施すべき審査手続を幕別町監査基準に準拠し実施した。

### 第2 審査の結果

審査に付された各基金の運用状況を示す書類の計数は、関係帳簿等と照合した結果誤りのないものと認められ、また、基金の運用状況は妥当であると認められた。

審査の結果の詳細は、以下のとおりである。

当年度の運用の状況は次のとおりである。

区 分		令和元年度末 現在高	令和2年度中		令和2年度末 現在高
			積立額	取崩額	
積立 基金	財政調整基金	1,404,000,000	104,000,000	95,000,000	1,413,000,000
	減債基金	111,000,000	31,000,000	50,000,000	92,000,000
	まちづくり基金	1,358,589,090	146,446,000	337,244,000	1,167,791,090
	森林環境譲与税基金	11,323,000	24,068,241	6,710,000	28,681,241
	新型コロナウイルス感染症 関連無利子融資円滑化基金	0	100,081,668	0	100,081,668
	一般会計計	2,884,912,090	405,595,909	488,954,000	2,801,553,999
	国民健康保険基金	228,578,863	67,373,948	19,120,000	276,832,811
	介護給付費準備基金	137,863,525	45,480,478	50,000,000	133,344,003
	農業集落排水事業償還基金	12,413,045	13,654	855,506	11,571,193
	積立基金計	3,263,767,523	518,463,989	558,929,506	3,223,302,006
定額運 用基金	土地開発基金	536,361,246	365,533	0	536,726,779
	現金	365,333,636	365,533	0	365,699,169
	土地	171,027,610	0	0	171,027,610
	定額運用基金計	536,361,246	365,533	0	536,726,779
合計	現金	3,629,101,159	518,829,522	558,929,506	3,589,001,175
	土地	171,027,610	0	0	171,027,610

(注) 決算年度末現在高は、地方自治法第233条の2の規定による基金繰入額266,000,000円を除く。

財政調整基金は、前年度末に比し9,000,000円（0.6%）増加している。これは、104,000,000円の積み立てに対し、95,000,000円の取り崩しがあったことによる。

減債基金は、前年度末に比し19,000,000円（17.1%）減少している。これは、31,000,000円の積み立てに対し、50,000,000円の取り崩しがあったことによる。

まちづくり基金は、前年度末に比し190,798,000円（14.0%）減少している。これは、寄付金などにより146,446,000円の積み立てに対し、337,244,000円の取り崩しがあったことによる。

森林環境贈与税基金は、前年度末に比し17,358,241円（153.3%）増加している。これは、24,068,241円の積み立てに対し、6,710,000円の取り崩しがあったことによる。

新型コロナウイルス感染症関連無利子融資円滑化基金は、前年度末に比し100,081,668円（皆増）している。これは国から交付された新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金により、100,081,668円の積み立てがあったことによる。

国民健康保険基金は、前年度末に比し48,253,948円（21.1%）増加している。これは、67,373,948円の積み立てに対し、19,120,000円の取り崩しがあったことによる。

介護給付費準備基金は、前年度末に比し4,519,522円（3.3%）減少している。これは、45,480,478円の積み立てがあった一方、50,000,000円の取り崩しがあったことによる。

農業集落排水事業償還基金は、前年度末に比し841,852円（6.8%）減少している。これは、13,654円の積み立てがあった一方、855,506円の取り崩しがあったことによる。

土地開発基金は、前年度末に比して365,533円（0.07%）増加している。これは、現金で365,533円の積み立てがあった一方、取り崩しがなく、土地では積み立ても取り崩しもなかったことによる。

## むすび

一般会計の令和2年度末の基金残高は2,801,554千円で、前年度末に比して83,358千円（2.9%）減少している。これは405,596千円積み立てられた一方、488,954千円の取り崩しがあったためである。

一般会計と特別会計を合わせた当年度決算剰余金で、296,877千円が基金に繰り入れられることになったことは、厳しい財政状況の中にあって努力の跡が伺え一定の評価ができる。今後も歳入の確保と経費の節減に努め、基金残高の充実に努められたい。